

第85回 あまみエフエム放送番組審議会

1. 開催日時 令和3年6月30日(火) 19:30～
2. 場所 奄美市名瀬金久町4番3号2階 あまみエフエム 会議室
3. 出席委員 6名 師玉 当太、泉 松雄、元多 勝、
阿部 慎太郎、要田 亨、作島 あい(敬称略)
あまみエフエム 5名 麓 憲吾、渡 陽子、石岡 真夏、東 蘭、田畑 誠

4. 議題

(1) 審議

議題1

番組内容の審議 【ナキャワキャ島自慢】について

「名瀬(有屋)仲勝のお話し」

放送日時(本放送): 隔週月曜～土曜 7:50～(約8分)

(再放送): 同日の 12:00～

同じ週の日曜日 10:30～

事務局_渡

皆さん、よねやうがみんしょうらん(こんばんは)。時刻は7時30分をすぎました。本日もお忙しい中お越しくださいます、誠にありがとうございます。これより第85回あまみエフエム放送番組審議会を始めさせていただきます。本日も忌憚のないご意見をよろしくお願ひします。では本日、ナキャワキャ島自慢についてご意見を頂きたいと思ひていますが、ここからは師玉委員長に進行をお願ひしたいと思ひます。よろしくお願ひします。

師玉委員長

はい。よろしくお願ひします。早速ではありますが、ナキャワキャ島自慢の「名瀬(有屋)仲勝のお話し」で、聴いてこられたと思ひますので、それぞれの感想や、こうしたらいいというのがありましたら、おっしゃってください。それでは阿部委員からお願ひします。

阿部委員

はい、楽しく聴かせて頂きました。ラジオのいいところでもあり、難しいところでもあるんですが、やっぱりそこにいて見ているものが、ラジオだと伝わりづらいので、言葉でフォローしてもらいながら、想像しながら

らなんです、話の後に説明があって、例えばこんな現場だったとか、話の中にあった相撲の化粧まわしがこんなものですよとか、その写真をホームページなどにアップすると二度美味しいと思います。でも楽しく聴くことができました。こう言った話を聴ける番組がうまく続けばいいなと思います。以上です。

師玉委員長 では、泉さんお願いします。

泉委員

一番感じたのは話をしている、おじいちゃん、おばあちゃんがすごく楽しそうに話しているのが伝わってきました。話しの内容もそうなんです、うまく引き出して、楽しそうにしている、その時点でこのあまみエフエムのファンになっていると思うんです。だからある意味そっちの面もすごく大事ななと思いました。あとやっぱり最後に、島の何を一番残したいかという質問に島の言葉うんぬんとあったんだけど、この中に金久中出身の方はいますか？。。

事務局_麓 はい。金久中出身です。

泉委員 じゃ、金久音頭わかる？

事務局_麓 金久音頭。。わかんと思います。(笑)

泉委員

お一、わかるんだ。いや、金久音頭っていうのがあるんだけど、ワン(自分)の世代しかわからないかと思って。この歌はいつでも突然でも歌えるわけ。そんなふうに自分の事と重ねて考えたりしました。話の内容はあんまり頭に入ってこなかったんだけど、楽しそうに話していると言うのと、学生の頃の歌がすぐ出てくるんだなあと、もう一回その輪内音頭を復活させたとか言う話しも、多分それがなかったらその歌が復活しなかったと思うと、すごいなあと感じましたね。はい、以上です。

事務局_一同 ありがとうございます。

師玉委員長 では、要田委員お願いします。

要田委員

はい。前のお二方とすごく似てくるんですけど、自分もその話を聴きながら、最後放送が終わった後とかに、写真でもアーカイブが見えるようにすると、もっと話の中でもいろんなことがわかってくるのかなと感じました。自分のじいちゃんと話をしているような感覚で聴いていたんですけど、本当に話をしている方が楽しそうに自分の昔話をしてくれて、例えば草履の話とかだったりも、もし自分のじいちゃんだったら、「えー！！

じいちゃんそうだったの?!」ってそんなやりとりが見えてくるように感じました。そんな風に相手もあまみエフエムで話すのを楽しみながら話しているんだと感じました。自分は大阪から奄美に来ているなので、元々島生まれ島育ちではないので、こういうおじいちゃんが島にいて、仕事で一回集落を離れて、戻って来て、歌を復活させるっていう話を聴いていると本当に集落を誇りに思って、大事に思っていると言うのが、ひしひしと感じました。そういうのが自分は故郷がここではないので、余計それが羨ましく感じました。「かっこいいなー！」って思いました。子供たちもこれを聴いて、同じように感じて欲しいなと思ったし、こんな風に島の子供達と島のじーちゃん、ばーちゃんたちが一緒に話す機会があってもいいのかなと思います。今はじーちゃん、ばーちゃんたちだけですけど、本人のお孫さんたちと話をするでもいいし、その地域の子供たちでもいいし、そんな場が作れたら、また違う展開があって面白いかなと思いました。以上です。

事務局_一同 ありがとうございました。

師玉委員長 作島委員お願いします。

作島委員

はい。自分が方言をしゃべれない、聞けない世代なので、やっぱり最初におじいちゃん、おばあちゃんの話聴いた時は、何を言っているのかわからなかったです。でも繰り返し言うてくださるから理解ができて、なんだか英語のリスニングをしているみたいで、英語の授業をしているみたいだなと感じました。皆さんが言うみたいに本当に楽しそうに話をしているし、繰り返し言うてくれるからすごくわかりやすいと思いました。私の周りで島外からレンタカー借りてくるお客さんもいるんですけど、その方達が車の中でラジオを聴いて、じーちゃん、ばーちゃんの話が面白いって言ってます。

泉委員 わからないけど、面白いと言うてくれるんだ。

作島委員

はい。何言ってるかは、わからない。わからないけど、やっぱり楽しそうに話しているからでしょうね。そう言うてました。はい。以上です。

事務局_一同 ありがとうございます。

師玉委員長 元多さんお願いします。

元多委員

島口もなんだけど、あと「ナキャワキャ島自慢」と言うタイトルなんだけど、話の内容が島自慢というより、今回の仲勝の今昔みたいな感じかなあと思ったんだけどね。で、楽しそうにやっているところはよかった。

それで、歌と踊りを復活させたって事なんだけど、今自分の集落でも八月踊りを一番長老の人が歌えないような状況だから、その後どうするかと言う事で本当に苦労しています。うちも限界集落だから、若手でどこまでやれるかって感じで、その時にこの仲勝のお話を聴いて自分達の集落でもなんとかせんばいかなあと感じました。はい、以上です。

事務局_一同 ありがとうございます。

師玉委員長

はい。では僕からなんですが、まあ皆さんと似たような事なんですが、例えば話の中で島口で「あまくま」あっちこっちは、その人達の中ではわかるけど、聴いている側はちょっと難しくて、島の人でも今の地理じゃなくて、昔の地理の話になってくるとどこの場所の話をしているんだらうってわかりにくく感じました。あと、地元で今まで何十年、何百年と残っているものを残すのも大事だし、こうやって復活させたと言う話も興味深くて、誰かがこんなにしてやったら面白いとか、相撲の化粧まわしもあっちの集落にはあるのに、自分の集落にはないから作らばってなるのも、そんな方々がいるから今があるんだと、すごく感慨深いなと感じています。後はこの番組で屋田さん夫妻がお話をしていたんですが、奥さんが多分学校の先生で、住用小学校にも勤務されていて、結構住用でも一生懸命活動されている方で、久しぶりに声も聴いたので、よかったと感じています。個人的な感想でした。多分いろんな集落に言って話を聞いたりしていると思うんですけど、例えば今回の仲勝の話だったら、地域な内にある朝日小学校、朝日中学校の子供たちに対して、学校で聴いてもらえるようにするとか、先ほど要田さんがおっしゃったように、取材の際に子供達に参加してもらったりすると、今住んでいる子達にもすごくいいんじゃないかなと思いました。僕からは以上です。

事務局_一同 ありがとうございます。

師玉委員長 今の皆さんのご意見に対して、ディ！さんからは何かございますでしょうか？

事務局_石岡

はい。私がいつも取材に行かせて頂いていています。この番組を担当させて頂き数年がたつんですが、まずどの集落にお邪魔しても、皆さん快く取材の協力をしてください。行く集落ごとによってもですが、そこに住んで話をして下さる方々によって、話す内容は違ってきます。なのでこちらからこんな話をしてくださいと決めているわけではなく大体のテーマを決めて、後は集落の皆さんにどんな話をするのかは任せています。そこに住む皆さんの営み、そしてその集落で昔を思い出して話しをして下さる、その話自体が宝物、自慢というようなイメージで取材をしています。そしてこの番組を聴いたリスナーさんから感想なんかも頂くんですが、その集落の八月踊りの唄が聴けること、自分が知っている人の話が聴けるのが嬉しいなど、いろんな感想を頂いて励みになっています。以上です。

事務局_渡

はい。このナキャワキャ島自慢という番組はまさしくシマ(集落)自慢で、160ある集落の一つにスポットをあてて一週間とおして、その集落の営みだったり、その集落しかない行事だったりを語って頂いているんですけど、いつも思うんですが、集落の課題でもある行事の担い手だったり、若い人たちが少なくなっている中で、例えば師玉委員長のように自分たちの集落に住み、集落の皆さんで集落を盛り上げようと努力している姿を見て、すごいなと感じています。集落出身の方々にこの放送を聴いて頂き、「自分も集落のことをしないとなあ」と少しでも、間接的に思ってもらえれば嬉しいなと感じています。まだ行けていない集落もありますので、160集落全て取材ができるようにしていきたいと思っていますし、一度行った集落もまた次の世代の方に話を聴いたり、皆さんのご意見であったように若い世代の方にも参加して頂きながら、また番組を作っていきたいと思っています。

阿部委員

出身の集落の人達へのアピールなどもあるんですか？例えば「今週はここの集落の放送があるから聴いてね〜」みたいな宣伝ですね。やっぱり出身の方が聴く感覚と、外から聴いて面白いと思う感覚は違うと思うので、集落の出身の方に聴いてもらえるような宣伝をするとういのかと思います。

事務局_渡

はい。そうですね。今はブログなどのSNSでのアップはしていますが、例えば郷友会と繋がりながら、その方々に聴いて頂くとよりピンポイントになると思いました。

師玉委員長

あと、その集落の行事が「今年は何がいついつあるよ〜」とか、そういうのがインタビューの中で、例えばその出身の方で「来れる方は来てくださいね〜」と呼びかけてしてもらって宣伝してもらえたら、ラジオ聴いている出身者が応援しよう、そのタイミングで集落に帰ろうとか思ってくれるんじゃないかなと思います。

事務局_麓 おもしろいですね。ラジオで出身者に集落放送をするといった感じですね。(笑)

師玉委員長

そうです！(笑)。あと聴いていて面白いと感じたのが、今回「名瀬(有屋)仲勝のお話し」ですが、仲勝に住んでいる皆さんも名瀬と仲勝を区別しているような言い方だったので、興味深かったです。自分は住用なので、名瀬と住用を区別はするんですけど。

泉委員 そうだね。旧名瀬ってことだね。

一同阿部委員

皆さん、下方地区、上方地区を自然と区別しているのかもね。現在の名瀬と旧名瀬を区別していると言う感じですよ。

師玉委員長

そうですね。では第85回あまみエフエム放送番組審議会を終了します。ありがとうございました。

ありがとうございました。

5 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置及びその年月日

次回審議会までに改善に努める

6 審議会機関の答申又は意見の外用を公表した場合における、

その公表の内容、方法及び年月日

① 自社放送：令和3年7月31日(土)

② 書面の備置き：令和3年7月31日(土)から、当該事項を記載した書面（議事録）を当法人事務局へ備置き、聴衆者の閲覧希望に対応

③ インターネット：令和3年7月31日(土)より当法人インターネットのホームページに転載

7 その他の参考事項 なし